

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-167205

(P2001-167205A)

(43)公開日 平成13年6月22日(2001.6.22)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 0 2 Z E C 5 0 2	G 0 6 F 17/60	3 0 2 Z Z E C 5 0 2
G 0 7 B 1/00		G 0 7 B 1/00	E
G 0 7 F 7/08		G 0 7 F 7/08	M
審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 7 頁)			

(21)出願番号 特願2000-316906(P2000-316906)

(22)出願日 平成12年10月17日(2000.10.17)

(31)優先権主張番号 1 9 9 9 P 4 6 3 5 0

(32)優先日 平成11年10月25日(1999.10.25)

(33)優先権主張国 韓国 (K R)

(71)出願人 500482429

株式会社アイチケット

大韓民国ソウル市江南区三成洞165-2

城都ベンチャータワー202戸

(72)発明者 金 泰 演

大韓民国ソウル市江西区禾谷洞409-56

101戸

(74)代理人 100094145

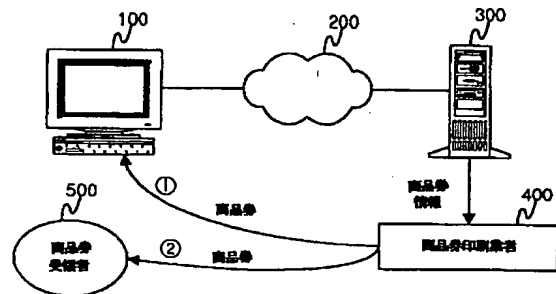
弁理士 小野 由己男 (外1名)

(54)【発明の名称】 あつらえ型商品券発行システム及び方法

(57)【要約】

【課題】 インターネットを通じて接続した商品券購買者が商品券を任意の仕様で注文して、発行させてもらうようにするあつらえ型商品券発行システムと商品券発行方法を提供する。

【解決手段】 商品券発行方法は、商品券購買者が商品券の形態を任意に設計し得るようにする段階と、商品券購買者が商品券の額面価格と数量を決定し得るようにする段階と、商品券購買者が費用を支払うと、商品券購買者が決定した商品券の仕様に依じて商品券を印刷して配達する段階とを含む。商品券発行システムは、商品券購買者が接続すると、商品券の形態、額面価格及び数量を選択し得るようにする商品券発行サーバーと、商品券購買者が選択し得る多数の商品券形態のサンプルを備えている商品券テンプレートデータベースと、商品券購買者が選択した商品券の仕様にに関する情報を前記商品券発行サーバーから受信し、その仕様のとおりに商品券を印刷する商品券印刷システムと、商品券購買者が商品券費用を支払えるようにする支払システムとを含む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】インターネットを通じて商品券購買者が商品券発行システムに接続すると、前記商品券発行システムが商品券の使用店、額面価格及び発行数量を入力し得る画面を前記商品券購買者に伝送する段階と、商品券購買者が前記使用店、額面価格及び数量を入力すると、前記商品券発行システムから商品券発行費用を計算して商品券購買者に提示する段階と、商品券購買者が前記商品券発行費用を支払うと、注文された商品券に関する情報を商品券発行システムから商品券印刷システムに伝送する段階と、前記商品券印刷システムで前記情報のとおりに商品券を印刷する段階とを含むことを特徴とするあつらえ型商品券発行方法。

【請求項2】インターネットを通じて接続した商品券購買者が商品券を任意の仕様で注文して、その商品券を発行させてもらうようにする商品券発行システムの商品券発行方法において、商品券購買者が商品券のデザインを任意に設計し得るようにする段階と、商品券購買者が商品券の額面価格と数量を決定し得るようにする段階と、商品券購買者が費用を支払うと、商品券購買者が決定した商品券の仕様に応じて商品券を印刷して配達する段階とを含むことを特徴とするあつらえ型商品券発行方法。

【請求項3】前記方法は、商品券購買者が商品券の使用店を任意に決定する段階を更に含むことを特徴とする請求項2記載のあつらえ型商品券発行方法。

【請求項4】前記商品券購買者が商品券の形態を任意に設計し得るようにする段階は、多数の商品券形態サンプルの中から商品券購買者が選択したサンプルに、商品券購買者が任意に入力し得る部分を入力し得るようにする段階を含むことを特徴とする請求項2又は3記載のあつらえ型商品券発行方法。

【請求項5】前記商品券購買者が任意に入力し得る部分に、商品券購買者のロゴが含まれることを特徴とする請求項4記載のあつらえ型商品券発行方法。

【請求項6】商品券購買者が商品券に記載される文句を入力し得るようにする段階を更に含むことを特徴とする請求項2又は3記載のあつらえ型商品券発行方法。

【請求項7】商品券購買者が接続すると、商品券の形態、額面価格及び数量を選択し得るようにする商品券発行サーバーと、商品券購買者が選択し得る多数の商品券形態のサンプルを備えている商品券テンプレートデータベースと、商品券購買者が選択した商品券仕様に関する情報を前記商品券発行サーバーから受信し、その仕様のとおりに商品券を印刷する商品券印刷システムと、商品券購買者が商品券費用を支払えるようにする支払システムとを含むことを特徴とするあつらえ型商品券発行

システム。

【請求項8】前記商品券発行サーバーは、商品券を使用し得る使用店の目録を有しているので、商品券購買者が使用店を選択し得るようになったことを特徴とする請求項7記載のあつらえ型商品券発行システム。

【請求項9】前記商品券発行サーバーは、多数の商品券形態サンプルを有しているので、商品券購買者がその中から一つを選択して商品券形態をデザインし得るようになったことを特徴とする請求項7又は8記載のあつらえ型商品券発行システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はあつらえ型商品券発行システム及び方法に関するもので、特に、商品券の購買者が遠隔地でオンラインにより商品券の形態、デザイン、額面価格、使用可能業者などを所望のとおりに指定して発行し得るシステム及び方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、商品券とは商品と交換し得る定額、無記名有価証券をいい、発行店が取り扱う商品を券面に記載された金額の範囲内で購入し得るようにしたものである。

【0003】商品券のなかには、デパート商品券、製靴店商品券などのように、単一業者から発行されて当該店のみで使用可能な商品券と、図書商品券又は分化商品券などのように、加入されている多くの加盟業者で自由に使用し得る商品券がある。

【0004】この商品券の流過程を述べると、商品券購買者は商品券の額面に相当する金額又は少し割り引かれた金額で商品券を購入してほかの人にプレゼントする。商品券のプレゼントをもらった人は、その商品券の使用可能な店でその商品券を自分の所望商品と交換する。商品を販売し商品券をもらった店では、当該商品券を発行業者に提示して、当該金額を受領することで、商品券の流過程が完了することになる。

【0005】ところで、商品券は、通常、5000円、一万円、五万円などのように、発行業者が決めた数種の額面のみで発行される。したがって、商品券をプレゼントしようとする人は自分の予算範囲に合わせて商品券を選定することになるが、所望商品又は業者の商品券に所望額面価格の商品券がない場合には、ほかの商品券を捜すか、又は数種の商品券を購入して組み合わせるなど、不便な点がある。

【0006】例えば、一人当たり7万円を予算で取っているが、特定商品券の額面価格が2万円券、5万円券、10万円券しかない場合には、2万円券と5万円券を購入してプレゼントし、5万円券しかない場合には、ほかの商品券を捜さなければならない。

【0007】また、商品券のデザインにおいても、発行業者が決めた画一的なものを使用しなければならない場

合が多い。もちろん、商品券を多量で購入してプレゼントする場合には、所望デザインで商品券を発行してくれるよう商品券発行業者に頼むことができるが、余り注文量が多くない場合には、決められているデザインの商品券をそのまま購入してプレゼントするしかない。また、商品券発行業者に、所望デザインで発行してくれるよう注文する場合にも、商品券のデザイン又は注文がややこしくて、一般人が易しく使用できないという欠点がある。

【0008】商品券はプレゼント用で使用される場合が多いので、商品券をプレゼントする業者のロゴ又は広告を入れるか、又は結婚式の客に感謝の言葉を商品券に挿入すると、商品券の効果がより高くなるであろう。したがって、少量で商品券を購入しても自分が望むデザインで商品券を発行することができれば、商品券に対する需要がもっと増えることになるであろう。

【0009】また、既存の商品券は当該商品券を使用し得る品目又は業者が決められている。したがって、商品券のプレゼントをもらった人は当該品目のみを購入するか、当該業者の店のみで使用するべきであるので、選択の範囲が非常に狭い。仮に、靴商品券をもらった場合には、決められたブランドの靴のみを購入しなければならないという制約がある。図書商品券をもらった場合には、本を購入しなければならないという制約がある。

【0010】ところで、多くの人々に同時に商品券をプレゼントする場合には、人別に趣向と現在必要とする商品などが異なり得るので、このように、制限された品目又は業者のみで交換可能な商品券をプレゼントすることはその効果が落ちるしかない。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】したがって、本発明はこのような点に鑑みてなされたもので、商品券購買者が商品券の額面を決めることができるあつらえ型商品券発行システム及び方法を提供することを目的とする。

【0012】本発明の他の目的は、商品券の購買者が商品券の形態を容易にデザインして注文し得るあつらえ型商品券発行システム及び方法を提供することである。本発明の他の目的は、商品券の所持者が多数の業者の中から、又は多数の品目の中から選択して購入し得るよう、商品券の購買者が商品券の使用店を自分の思いのとおりに決めることができるあつらえ型商品券発行システム及び方法を提供することである。

【0013】本発明の他の目的は、このようなあつらえ型商品券を遠隔地でオンラインにより易しく注文し得るようにしたあつらえ型商品券発行システム及び方法を提供することである。

【0014】

【課題を解決するための手段】本発明は、このような目的を達成するため、オンラインあつらえ型商品券発行システム及び方法を提示する。あつらえ型商品券とは、個

人又は団体などの購買者がインターネットなどの通信網を通じてオンラインで商品券発行会社のコンピュータシステムに接続して、遠隔地で直接所望のデザイン及び商品券の額面価格、使用店などを指定して発行してもらうことができる商品券をいう。このように、商品券の購買者がオンラインで商品券を注文すると、商品券発行会社のコンピュータシステムに連結されたプリントシステムを通じて、注文した商品券を印刷して購買者に配達することにより、商品券の購買者は所望の額面価格と所望デザインの商品券を容易に注文して入手し得ることになるものである。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、添付図面に基づいて本発明の実施例を詳細に説明する。図1は本発明のあつらえ型商品券発行システムを用いて商品券を発行する方法を説明する模式図であり、図2は購買者が本発明のあつらえ型商品券発行システムに接続して商品券を注文する段階を示す流れ図であり、図3ないし図14は購買者が本発明のあつらえ型商品券発行システムに接続して商品券を注文する場合の購買者のコンピュータに表示される画面の例である。

<ログイン>図1に示すように、商品券購買者100はインターネットなどの開放型通信網200を通じて商品券発行システム300に接続する。図3はこのときの購買者100のコンピュータに表示される画面の例である。

【0016】商品券発行システム300に接続するためには、商品券購買者100は商品券発行システムに会員として加入する必要がある。会員として加入していない購買者100は“入会”ボタンをクリックし、一般の会員登録手順にしたがって会員として加入すればよい。会員として加入すると、会員IDが与えられ、そのIDに対するパスワードを指定することができる。

【0017】会員として加入されている購買者100は、自身の会員IDとパスワードを入力して商品券発行システムにログインする(図2の段階S110)。

<商品券種類選択>商品券発行システムに接続したとき、会員に与えられるサービスはいろいろあるが、本明細書においては、商品券の注文に限って説明する。

【0018】商品券と呼ばれるものとしては、紙に印刷された通常の商品券のほかにも、電話カードのようなプリペイドカード、バスカードのようなICカード、電子マネーなど、いろいろがあり得る。商品券発行システム300では、もちろんこれら多様な形態の商品券を全て収容し得るようにすることもでき、又はいくつかに限りサービスすることもできる。

【0019】商品券発行リスト300で、前記のように、いろいろの商品券を取り扱う場合は、図4に示すように、システム300が対応している商品券の種類がリストされ、購買者100はこの中から商品券の種類を選

択することができる(段階S120)。取り扱う商品券の種類が1つである場合、この段階はもちろん省略することができる。以下では、購買者100が紙商品券を選択したと仮定して説明する。

【0020】<商品券設計方法選択>本発明において、購買者が商品券をデザインする方法は二通りある。その一つは、商品券発行システム300が提供するいくつかのテンプレートの中から一つを選択し、そのテンプレートの中で購買者が変更し得るいくつかの部分に購買者が入力するようにする一般のあつらえ型であり、もう一つは、購買者が商品券のデザインを全く任意に行える完全あつらえ型である。購買者が商品券をデザインすることができず、一つ又はその以上のデザインサンプルから選択し得るようにすることもできる。

【0021】商品券発行システム300は、一般あつらえ型サービスのために、多様な商品券サンプル(テンプレート)をデータベース化して保管している。商品券発行システム300では、図5に示すように、購買者100がこの2形態の商品券設計方法の中から一つを選択し得るようにする(段階S130)。商品券発行システム300はこの2方法の一つのみを提供することもでき、この場合、段階S130は省略される。

【0022】購買者100が完全あつらえ型を選択した場合には、購買者が全く自由に商品券をデザインすることができる。場合によっては、商品券のサイズも任意に決められるようにすることもできる。

【0023】購買者100が一般あつらえ型を選択した場合には、図6に示すように、システム300が提供するテンプレート(又はサンプル)が画面に表示される。購買者100がこの中から、気に入った一つをクリックすることで、テンプレートを選択することができる。

【0024】これらテンプレートには、背景絵、広告、ロゴ、文句などが入れられる部分が設けられているので、当該部分をクリックし、イメージファイルをアップロードするか、文句を入力することにより、当該テンプレートから購買者の独特な商品券デザインを完成することができる。

【0025】文句の入力は、購買者が任意に入力し得るようにすることもできるが、頻繁に使用されるいくつかの文句を用意し、購買者がこの中から一つを選択し得るようにすることもできる。

【0026】図7は、文句を入力し得る部分がテンプレートに設けられている場合、当該部分をクリックしたときの画面の例を示す。システム300はいろいろの場合に適した多様な文句を備えているので、購買者100はこの中から所望の一つを選択することができる。

【0027】このような文句としては、“野遊会記念”、“合格をおめでとうございます”のように固定形式の文句もあるが、図8に示すように、“第〇回会長杯〇〇試合”などのように、〇の部分に購買者が選択して

入力し得るようにした、半固定形式の文句もあり得る。このような場合、使用者が当該空欄に所望事項を入力することで、文句を完成することができる。例えば、“第〇回会長杯〇〇試合”の場合、〇部分に“32”を、〇〇部分に“テニス”を入力すると、“第32回会長杯テニス試合”という文句が完成されるものである。

【0028】購買者100はこのような過程を経て商品券の設計を完成する(段階S140)。すると、図9に示すような完成された商品券の形態が表示され、購買者100は当該商品券が気に入ると“次へ”ボタンをクリックして次の段階に移行し、気に入らない場合には、“戻る”ボタンをクリックして商品券を再度設計することになる。

【0029】<商品券の使用店選択>商品券のデザインのほかに、購買者100が選択し得るものとして、商品券の使用店と商品券の額面がある。まず、商品券の使用店を選択する方法について説明する。

【0030】既存の商品券は使用店が決められているため、商品券を使用するのに不便が多かった。特に、多くの人々に商品券をプレゼントする場合、例えば、特定の製靴会社の靴商品券をプレゼントしたと仮定するとき、プレゼントをもらう人によって、商品券指定会社の靴は履かないとか、靴は余裕分があるので、ほかの商品をもらいたいなどといったことが生じ得る。

【0031】したがって、本発明において、多数の商品券の使用店を購買者100が任意に選択し得るようにする。例えば、一つの商品券でいろいろの製靴店、書店、デパートなどで使用できるようにすると、前述のような問題は発生しない。

【0032】商品券の使用店を選択する方法の一例を図10ないし図12に基づいて説明する。図10において、購買者100は、“商品券使用店の選択”のボタンをクリックすることで、使用店を選択する画面に入る。図11は、購買者100が“商品券使用店の選択”のボタンをクリックした場合の画面の例を示す。図11に示すように、商品券の使用店がグループ化されリスト表示されている。購買者100はこの中から所望のグループを一つ以上選択することができる。

【0033】図12はリストの中から“デパート”をクリックした場合の画面例を示す。購買者100はリストのデパートの中から多数のデパートを選択することができる。図12は“デパートC”が選択された場合を示す。ここで、選択を簡便にするため、“全て選択”ボタンを設けることもできる。

【0034】図12の画面でデパートを選択した後、購買者100は“戻る”ボタンをクリックして図11の画面に戻り、ほかのグループ内の使用店を更に選択することができる。このような段階を繰り返して所望の使用店選択を終了した場合は、図11又は図12の画面で“次へ”ボタンをクリックして次の段階に移行する。

【0035】こうして選択された使用店のリストは、商品券使用者の便宜のため、商品券に印刷することが好ましい。この場合、印刷可能な使用店の数が限定されていることもあり得るので、一定店数以上の使用店を選択できないように制限することもできる。また、商品券使用店のリストは、商品券デザインを生かすために裏面に印刷することもできる。

【0036】＜商品券額面価格及び数量の選択＞既存の商品券は額面価格が数種に定められているので、その中から選ばなければならなかった。したがって、商品券をプレゼントしようとする人は、自身の予算範囲に合わせて商品券を選定することになるが、所望の商品又は業者の商品券に所望の額面価格の商品券がない場合には、ほかの商品券を捜すか又は数種の商品券を購入して組み合わせるなどの不便な点がある。

【0037】したがって、本発明では、購買者100が額面価格を決定し得るようにしている（段階S160）。図10の画面において、使用者は商品券の額面価格を選択することができる。図面では、リストされた商品券額面価格の中から一つを選択する方式になっているが、購買者が直接所望価格を入力し得るようにすることもできる。この際に、千円単位未満は入力できないように制限することもできる。

【0038】また、購買者100は発行すべき商品券の数を入力するようになっている。購買者100は、10枚、23枚、521枚などのように、自身が発行しようとする商品券の数を入力することになる。この際に、システムでは、例えば、50枚以上などのように、一定枚数以上のみを入力し得るように制限することもできる。

【0039】また、本実施例では、購買者が額面価格と発行枚数を入力するようになっているが、他の方法として、購買者が自身の予算が額面価格を入力すると、発行枚数を計算して表示するようにすることもできる。

【0040】以上のように、購買者が商品券の発行に関連された全ての選択事項を選択し、商品券のデザインを完了すると、図13に示すように、完成された商品券のデザインが画面に表示され、額面価格、数量、使用店のような購買者の選択事項が表示される。購買者は、この画面で、自身の意図のとおり、商品券が完成されたかを確認する。意図のとおり完成された場合は“次へ”ボタンをクリックし、修正すべき事項がある場合は“戻る”ボタンをクリックし、前段階に戻って修正することになる。

【0041】＜商品券発行費用の支払＞商品券の費用を支払う場合は、電子商取引に使用される通常的方式を使用するとよい。本実施例においては、図14に示すように、クレジットカードによる決済、無通帳入金方法による決済、電子マネーによる決済の中から購買者が選択して決済するようにしているが、これに限定されるものではない。

【0042】また、このような支払システムは商品券発生システム内に保有することもできるが、外部の支払システムを使用することも可能である。

＜商品券受領者の指定＞発行された商品券はその商品券を注文した人100が受領することもできるが、商品券の注文時、受領する人を指定することもできる（段階S180）。商品券購買者100が受領する場合は、別に商品券受領者の住所を入力する必要なしに、会員として加入するときの住所情報を用いるとよいが、別の受領者500を指定する場合は、その人の住所を入力すべきである。また、商品券を受領する人500を多数指定することも可能である。

【0043】＜商品券の印刷及び配送＞このように、商品券のデザインの選択と費用の支払が完了されると、商品券発行システム300は、商品券デザイン、額面価格、発行枚数、使用店などのような、商品券に関連した情報を商品券印刷業者400に伝送することになる（図1参照）。商品券印刷業者400は、商品券発行システム300とは別の業者でもあり得るが、商品券発行システム300に直接連結されたプリントシステムでもあり得る。

【0044】商品券の印刷時には、偽造商品券の防止のため、特殊な偽造防止印刷技法を使用することが好ましい。通常、完成された商品券は、その商品券を注文した人100に配送される（図1の①）。しかし、前述したように、商品券の注文時、商品券を受領する人を別に指定することもできる。この場合、指定された商品券受領者500に商品券が配送される（図1の②）。

【0045】また、図1においては、商品券印刷業者400から直接商品券が購買者100又は受領者500に配達されるものと示したが、商品券印刷業者400が商品券発行システム300と別の業者である場合は、商品券印刷業者400から商品券発行システム300に商品券が伝わった後、商品券発行システム300から、郵便又は宅配などを用いて購買者100又は受領者500に配達するようにすることもできる。

【0046】以上、本発明をいくつかの例に基づいて説明したが、本発明は特定実施例に限定されるものではない。本発明が属する技術分野の通常の知識を持つ者であれば、本発明の思想から逸脱しない範囲内で多くの変更及び修正を加えることもできることが明らかであろう。

【0047】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によると、商品券の購買者が商品券の額面を任意に決定して商品券を発行できるという効果がある。

【0048】また、商品券の購買者が商品券の形態を所望のとおり容易にデザインして注文し得るので、商品券による広告効果、メッセージ伝達効果などを高めることができるという効果がある。

【0049】また、商品券の所持者が多数の店で使用し

得るように選択し得るので、商品券の効用性が高まるという効果がある。また、このようなあつらえ型商品券を遠隔地でオンラインにより易しく注文し得るので、誰でも易しく利用することができて商品券の発行を増加させ得るという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のあつらえ型商品券発行システムを用いて商品券を発行する方法を説明する模式図である。

【図2】購買者が本発明のあつらえ型商品券発行システムに接続して商品券を注文する段階を示す流れ図である。

【図3】購買者が本発明のあつらえ型商品券発行システムに接続して商品券を注文するときの会員登録画面を示す図である。

【図4】商品券種類の選択画面を示す図である。

【図5】商品券のデザインの選択画面を示す図である。

【図6】商品券サンプルの選択画面を示す図である。

【図7】商品券に入る文句種類の選択画面を示す図である。

【図8】商品券に入る詳細文句内容の記載画面を示す図である。

【図9】完成された商品券の例を見せる画面を示す図である。

【図10】商品券の額面価格、発行枚数及び使用店の記載画面を示す図である。

【図11】商品券の商品種類の選択画面を示す図である。

【図12】商品券の使用デパートの選択画面を示す図である。

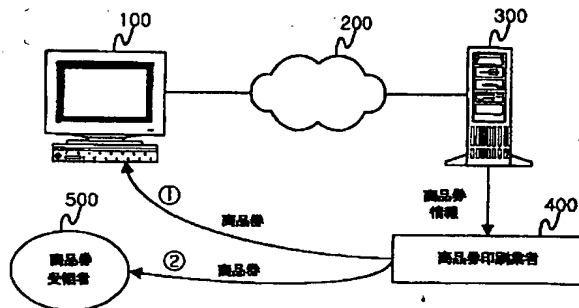
【図13】商品券の最終決定画面を示す図である。

【図14】商品券の費用の支払方法の選択画面を示す図である。

【符号の説明】

- 100 商品券購買者
- 200 開放型通信網
- 300 商品券発行システム
- 400 商品券印刷業者
- 500 商品券受領者

【図1】



【図3】

7行かそれ以上のパスワードを設定します。初めの方はまず会員登録をしてください。

会員ID

パスワード

【図4】

どんな種類の商品券にしますか？

【図8】

所望の文句を選択してください。

☐ 第 回 金盃杯 ☐ 入賞 試合

☐ 〇〇大学 ☐ 開校会

☐ 第 回 創立記念

☐ 野遊会記念

【図5】

商品券のデザインはどの型にデザインしますか？

画つきのサンプルの中から所望の型を選択

会員の所望の型に自由にデザイン

【図6】

所望の商品券サンプルを選択してください。

【図7】

商品券に入れる文句の種類を選択してください。

誕生日の祝い、卒業の祝い、結婚祝い

幸運、行事記念、感謝

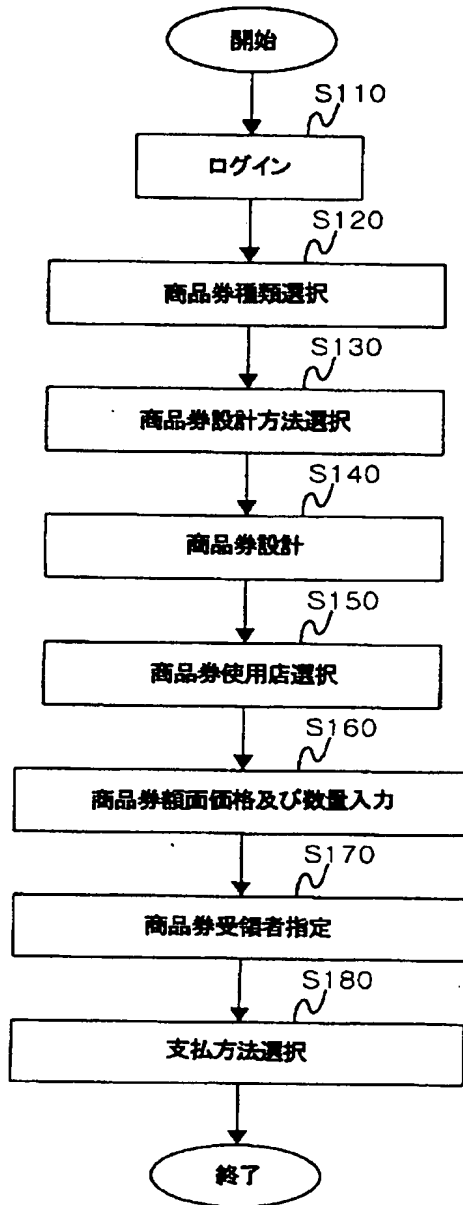
健康、子供、その他

【図9】

完成された商品券です。

裏作図をしたければ「戻る」ボタンを。上の形に商品券を制作したければ「次へ」ボタンをクリックしてください。

【図2】



【図10】

商品券額面価格 円
 発行枚数 枚
 商品券使用店の選択

【図11】

種類 デパート 額面額
 純土曜 児童用 金庫
 書店 食料 犬の他

【図12】

☐ デパートA ☐ デパートB
☐ デパートC ☐ デパートD
☐ デパートE ☐ デパートF
☐ デパートG ☐ デパートH

【図13】

次のように選択しました。
 商品券
 種類
 額面価格: 100,000円
 発行枚数: 80枚
 使用店:
 総額: 8,000,000円

【図14】

支払方法を選択してください。